

授業科目名	消費者調査法
-------	--------

授業概要	事業者にとって消費者の意識・実態を的確に把握することは経営戦略において重要であり、その手段として消費者調査の意義は大きい。特に、近年ではデータサイエンスへの関心が高まり、消費者データからビジネスに有用な知見を見出すことができる人材も求められている。本授業は、消費者調査に関する基本的知識と、データサイエンスの応用事例を通じて、その理解を深めることを目指す。また、演習では、データの収集、集計と分析、報告書の作成までの一連のプロセスを体験し、実践力を養う。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 消費者調査の必要性和意義を理解し、調査方法に必要な知識を習得する。 2. データサイエンスに必要な基本的な概念や手法について理解する。 3. 実社会のデータを題材とした演習を通じて、データサイエンスを活用し、課題の把握や解決策の提案ができるようになる。 4. グループで円滑にプロジェクトをマネジメントできるようになる。

建学の精神に基づく深い教養と高い専門性に富む学士力の形成への貢献

1 知識と理解		2 汎用的技能		3 態度・志向性	
○	1-1 人間に対する知識と理解	○	2-1 コミュニケーション・スキル	○	3-1 自己管理能力
○	1-2 社会に対する知識と理解	○	2-2 数量的スキル	○	3-2 チームワークとリーダーシップ
○	1-3 文化に対する知識と理解	○	2-3 情報リテラシー		3-3 道理の感覚
○	1-4 歴史に対する知識と理解		2-4 外国語運用能力	○	3-4 社会的責任
	1-5 自然に対する知識と理解	○	2-5 論理的思考力		3-5 審美的なものに自己を差し向けること
	1-6 健康に対する知識と理解	○	2-6 課題-解決力	○	3-6 生涯学習力
○	1-7 生活に対する知識と理解				3-7 健康推進

授業計画		
内容	方法	準備学習・発展学習
1 消費者調査とデータサイエンス	講義	【発展学習】 配布資料を読み理解を深めること (1時間)
2 消費者調査の計画とデザイン：データ分析の進め方及びデータ分析の設計方法	講義・演習	【発展学習】 配布資料を読み理解を深めること (1時間)、実際の消費者調査の企画を考えること (2時間)
3 消費者調査における質的調査法の意義	講義・演習	【発展学習】 配布資料を読み理解を深めること (1時間)、ボーナス課題に取り組むこと (3時間)
4 量的調査の設計とデータセットの構築：データの収集、加工、分割/統合	講義・演習	【発展学習】 配布資料を読み理解を深めること (1時間)、データ分析演習の復習をすること (2時間)
5 消費者調査における様々なデータの可視化手法	講義・演習	【事前学習】 基本的なグラフや統計指標について理解してくること (2時間) 【発展学習】 配布資料を読み理解を深めること (1時間)、データ分析演習の復習をすること (2時間)
6 データ分析手法の紹介とビジネスへの活用事例：クロス集計	講義・演習	【発展学習】 配布資料を読み理解を深めること (1時間)、データ分析演習の復習をすること (2時間)
7 データ分析手法の紹介とビジネスへの活用事例：線形回帰モデル1	講義・演習	【発展学習】 配布資料を読み理解を深めること (1時間)、データ分析演習の復習をすること (2時間)
8 データ分析手法の紹介とビジネスへの活用事例：線形回帰モデル2	講義・演習	【発展学習】 配布資料を読み理解を深めること (1時間)、データ分析演習の復習をすること (2時間)、ボーナス課題に取り組むこと (3時間)
9 データ分析手法の紹介とビジネスへの活用事例：ロジスティック回帰モデル	講義・演習	【発展学習】 配布資料を読み理解を深めること (1時間)、データ分析演習の復習をすること (2時間)
10 実世界で進む機械学習の応用と発展1：回帰AIを用いたデータサイエンス	講義・演習	【発展学習】 配布資料を読み理解を深めること (1時間)、データ分析演習の復習をすること (2時間)
		【発展学習】 配布資料を読み理解を深めること

11	実世界で進む機械学習の応用と発展2：分類AIを用いたデータサイエンス	講義・演習	(1時間)、データ分析演習の復習をすること(2時間)
12	データサイエンス実践：プロジェクト最終報告に向けたワークショップ	講義・演習・グループワーク	【発展学習】配布資料を読み理解を深めること(1時間)、実社会のデータを分析すること(3時間)
13	データサイエンス実践：プロジェクト最終報告に向けたワークショップ	講義・演習・グループワーク	【発展学習】配布資料を読み理解を深めること(1時間)、実社会のデータを分析すること(3時間)
14	データサイエンス実践：プロジェクト最終報告に向けたワークショップ	講義・演習・グループワーク	【発展学習】配布資料を読み理解を深めること(1時間)、実社会のデータを分析すること(3時間)
15	プロジェクト最終報告とディスカッション	講義・演習・グループワーク	【発展学習】ボーナス課題に取り組むこと(3時間)

成績評価	出席と受講状況(20%)、コメントシート(30%)、レポート課題(30%)、最終プレゼンテーション(20%)
------	--

教科書				
No	書名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	教科書なし			
2				
3				
4				
5				

参考書	
1	星野崇宏・上田雅夫『マーケティング・リサーチ入門』有斐閣アルマ
2	北川源四郎, 竹村彰通他『応用基礎としてのデータサイエンス AI×データ活用の実践』講談社
3	三好大悟『ビジネスの現場で使えるAI&データサイエンスの全知識』インプレス
4	竹村 彰通, 姫野 哲人, 高田 聖治(編)『データサイエンス入門 第2版【電子版】』学術図書出版社
5	

備考	本授業ではExcel, jamovi, Pythonなどのデータ分析用のソフトを使用します。初回ガイダンス時に、授業の進め方とツールについて説明をしますので必ず出席してください。グループワークには積極的に参加してください。実社会のデータを活用した演習を通じて、データサイエンスについて一緒に楽しく学んでいきましょう。
----	--